



今年も好調！ 就職活動最前線レポート

開学50周年記念特集 MOVE IN KONAN

「キャンパスの
グローバルスタンダード
って何だろう？」

シリーズ●甲南学園の20世紀 ⑤

昭和18(1943)年



九鬼周造(1888-1941)「いきの構造」などの著作で有名な哲学者。甲南大学図書館では九鬼周造直筆の原稿も当時のままに保管しており、本人の思考プロセスに迫れる資料と研究者からも高い注目を集めている。

学問への情熱をかきたてるため、 九鬼文庫を購入。

昭和15(1940)年、京都帝国大学文学部で教授を務めていた天野貞祐氏が、旧制甲南高等学校の顧問に就任。平生鈞三郎を助け、校長事務を代行します。当時、日本の教育は、日中戦争以後強化され始めた戦時体制に大きく影響を受けていましたが、天野は困難な状況下にあっても、生徒の学問への情熱をかき立てようとするさまざまな努力を行いました。

昭和18(1943)年に、元京大教授であり、親友でもある哲学者九鬼周造の蔵書を学園に一括購入したのもそうした試みのひとつ。九鬼文庫と呼ばれる、いまや全国的に知られるこの蔵書は、哲学・文芸分野の著名図書計7276冊(和書3230冊、洋書4046冊)の中でも洋書には日本で手に入らない貴重書が多く、また蔵書以外にも、当時の文化人が綴った書簡、九鬼周造直筆の原稿など、数々の貴重な資料が含まれていました。

これらは、いまも大学図書館で大切に保管されており、天野の教育に対する想いとともに、甲南学園の誇りとなっています。

平生鈞三郎のよきは

5

『教育ばかりは大量生産とすることができない』

平生鈞三郎述、私は斯う思ふ(昭和11年発行)より

震災による被害のため、九鬼文庫は現在資料を整理中です。一般への公開は見合わせていますので、ご了承ください。



- 01 Pick up the 甲南
同窓会碑
- 02 WHAT'S NEW! KONAN
50周年記念式典・オール甲南の集い
新5号館竣工式
- 03 KONAN CAMPUS WATCHING
**今年も好調！
就職活動最前線レポート**
- 07 キャンパスライフここが知りたい!!
～学生相談室編～
- 08 MOVE IN KONAN シリーズ第1回
**「キャンパスのグローバル
スタンダードって何だろう？」**
- 13 学びの最前線! アカデミック・ナウ
中島ゼミ
シュレスタ研究室
- 14 KONAN PEOPLE 甲南ピープル
ネバー・ギブアップ! これが甲南アメフト・スピリット。
- 15 サークル紹介
フットサル・サークル「Grandioso」
韓国文化研究会
- 16 キャンパスダイジェスト
- 17 新刊レビュー
- 18 甲南フォーラム
- 19 甲南学園の20世紀



今回の表紙 / 新5号館

サイバーライブラリ、自由利用パソコン室など、全館に最新のマルチメディア設備を張り巡らせた新5号館。この新しい施設が甲南大学の情報教育を、さらに大きく発展させていきます。

Pick up the 甲南 同窓会碑

本校舎内の平生飢三郎の肖像西隣にある記念碑。これは平成8年に建立された、旧制高校同窓生のための記念碑です。大正8年に平生飢三郎がこの地に創立した甲南高等学校は、日本で2番目に誕生した7年制の高校。当時とし

この記念碑は、長年にわたり継承されていた当時の学舎が阪神・淡路大震災で倒壊したため、現在も行われている「旧制甲南大会」を機に建立。旧制高校全同窓生の氏名が刻まれ、甲南学園の長い歴史を物語っています。



開学100年に向けて。
記念式典と同窓生の
集いに3000人が集結。

50周年記念式典・オール甲南の集い

4月21日、甲南大学講堂兼体育館において甲南大学開学50周年記念式典が行われました。当日は文部科学省高等学校局長、合田隆史氏をはじめ、国会議員、他大学学長・総長、海外協定大学代表などの来賓のほか、新旧教職員、卒業生ら約450人が出席。吉沢英成学長は式辞で、「学園創立者、平生飢三郎の夢を生かし、輝く個性で21世紀をリードする人材を育成したい」と決意を述べました。

また、この日は午後から甲南大学と甲南大学同窓会の共催による「オール甲南の集い」を開催。中国古箏奏者、伍芳さんによる演奏、チャリダーや歌舞伎伎文楽研究部、韓国文化研究会、応援団による演奏の披露など、学内の随所で多彩な

イベントが行われ、お子さんやお孫さんを連れられた方など約2500人の卒業生が学生気分に戻って、当時は懐かしんでいました。

講堂兼体育館では学生の自主活動を支援する「甲南21クリエイティブプラン」の表彰式が行われ、甲南大学における循環型コミュニケーションの創造へ、桔梗佑子さんほか15人、21世紀「T革命」への地域情報ネットワーク（松田雄介さんほか21人）が最優秀賞を受賞。さらに映画監督の大森 樹氏による「わたしの人生案内」と題する講演や、クラリネット奏者北村英治氏による現役・OBビッグバンドとの競演、立食パーティなども行われ、ラストの盛り上がりは最高潮に。教員、現役学生、卒業生がひとつになって楽しんだこの集い、まさに甲南学園ならではのスピリットを皆が実感した1日となりました。



新しい知的活動空間が
いよいよ完成。

新5号館竣工式

全館マルチメディアに対応した新5号館の竣工式が3月22日に行われました。

新5号館は学生が自由に利用できるパソコン室やマルチメディアセミナー室などを備えた「高度知的工房空間」で、館内のどこからでも無線LANの利用が可能。

まさに21世紀の高度情報化社会にふさわしい学びの拠点であると言えます。竣工式では理事長や学長をはじめ、学内外の関係者約80人が出席し、新5号館の完成を祝いました。



就職活動ファイル ①

私が就職活動を始める前から考えていたのは、多くの企業を訪れ、自分にぴったりの職場を見つけたらいいなと。活動を始めて以来、これまで、イベントリーした企業は約150社参加したセミナーは30〜40社と、気になる企業はとにかくアプローチしてきました。ただ、セミナーで好感をつかんでも、次の選考になかなか進めない。原因を自分なりにいろいろ考えてみたのですが思い当たらず、これがずっと悩みのタネでした。そこで、一度自分の志望動機を第三者の目で見てもらおうと就職部の面談を受けることにしたのです。「書いてある内容が抽象的ですね。もっと内容を掘り下げないと、相手に届かないですよ」。それが応じてくださった職員の方の答えでした。幅広くアプローチ

志望動機を書き直すたび、やりたいことがリアルになった。



経済学部
経済学科
4年次
野口悦子さん

「目的意識を持たないと、自分に合う企業は見つからない。」



就職部の資料で、内定を取った先輩たちの志望動機を読み、「自分とどう違うんだろう?」と考えるのも勉強になる。最近では、すっかり大学に来るたびに就職部を訪れる習慣がついてしまったとか

してきただけに動機が絞り切れていなかったんですね。最初は少しショックでしたが、書き直して提出するたび、自分でもこれまで漠然としていたものがはっきりしてきたと感じました。また実際に、自分は教育関係の職場に入り、ゆとり教育の導入される小学校に対してこう役立ちたいときっぱり話せるようになってきたんです。多くの企業と出会いたい気持ちは変わりませんが、そのとき自分というものをしっかり持っていないと意味がない。それに気がつき、将来の進み方が少し見え始めた気がしています。

野口さんが教える
就職活動必携アイテム BEST 3

3 携帯電話

友達と情報交換ができるだけでなく、志望動機を書くとき、わからない漢字を調べるといった意外な活用法も



2 名刺

担当者との話を弾ませるためのひと工夫。学習塾でチューターをしていた経験もすっかりアピール



1 手帳

左はプライベート、右は就職活動と使い分ける。キャンセルそうな予定は付箋に書いて貼っておくと便利



今年も好調!
就職活動
最前線レポート

2002年3月に卒業する甲南大学生にとって、学生と大学の二人三脚で進んできた就職活動もいよいよ大詰め。ここでは学生2人のルポ、就職部のインタビューなどから、結果の期待される今年度の活動状況を中間報告します。



「一人ひとりに適した就職を支援。 実績以上に、その中身を追求したい。」

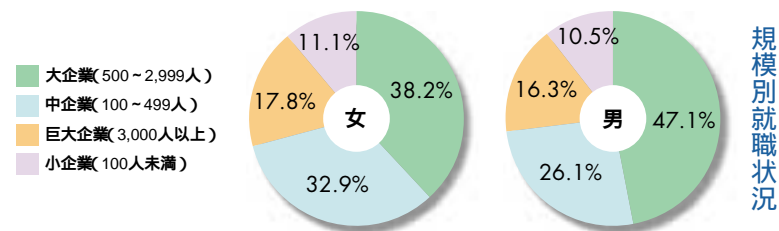
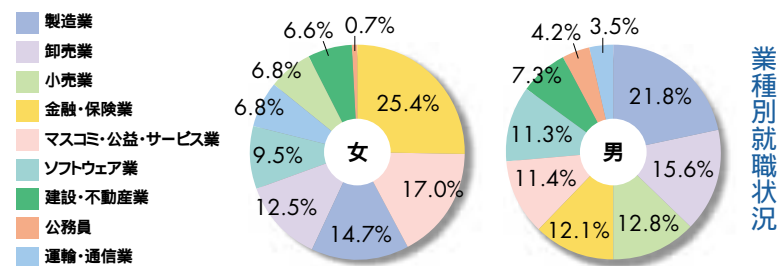
就職部担当者にインタビュー



中田善啓 就職部長 (経営学部教授)

いま、企業に就職した新入社員約3割が3年のうちに退職しているといわれますが、これは選んだ企業とのミスマッチがそもそもの原因。就職は、人生の重要な節目のひとつですから、やみくもに有名企業をめざすのではなく、自分に合う職場をじっくり選ばなければなりません。私たち就職部が、学生自身の「こんな仕事に就きたい」という意欲を何より尊重しているのはそんな理由から。例えば、1年生から参加できる就職講座を年間21回にわたり開催しているのも、そうした試みのひとつ。早い時期から目的意識を培うことが、将来に必要な知識を学ぶことにつながる。また、他にも、就職情報を欲しいときに素早く入手できる独自の検索システムを用意すると同時に、スタッフがいつでも相談に応じるなどの支援体制により、一人ひとりの就職活動をきめ細かくサポートしています。就職部では、今後もうつした体制をさらに強化し、就職の実績以上に、その中身を問い続けていきたいと思っています。

2000年度就職状況



企業研究セミナーを開催



さる2月13日~3月23日の平日、1日3回にわたり新卒就職希望者を対象とした企業研究セミナーを開催しました。延べ17,000人を超える学生が参加し、自分のめざす業界や企業の現状を把握するため、各企業からのメッセージに熱心に耳を傾ける姿が見られました。



理学部
化学科
4年次
原典昭さん

「就職活動のスタートは、 本当の自分を知ること。」

面接は企業との出会いの場。今はそれを楽しむ余裕も生まれた。この大学でもそうですが、理学部の学生は実験に追われるため、他に比べて就職活動のスタートが遅れがち。それでも僕の場合は、割と楽観的に構えていたのです。ところが、初めて行った企業セミナーで、周りのみんなが内容の濃い質問をどんどんしている姿を見て、さすがにこれは意識が違っていた。急に冷や汗が出てきました(笑)。

すぐ家に帰って以前就職セミナーでメモしたノートを引きだし、就職に対する準備を自己分析からやり直すことに。中学校の頃、高校の頃と、いろんな自分を深く、徹底的に探っていくと、次第に「こんなことも楽しみなが、行える」という長所が浮かび上がってきました。そして、めざす職業にこの長所がなぜ必要なのかを考えることで、筋の通った自己PRを行えるようになつた



就職部では資料の閲覧だけでなく、パソコンを自由に使って情報を検索できる。原さんのオススメ就職情報サイトは「毎日就職ナビ」。大企業だけでなく、中小規模の企業を見つけるのにも適している

のです。ただし、そんなに完璧な文章を考えていても、面接本番では緊張して言葉がなかなか出てこないもの。就職部の企業ファイルに掲載されている先輩の体験談から、面接の内容などを事前に知ることができるのは心強い限ります。これからは、さすがに多くの面接に挑戦していくことになりそうですが、今はその出会いを楽しみたいという気持ちでぶつかりたいと考えています。こんなふうに思えるようになったのも、甲南大学の就職サポートのおかげかも知れません。

原さんが教える
就職活動必携アイテム

BEST 3

3 印鑑

企業によっては交通費を支給してくれるところも。その際はハンコが必要だから常に携帯しておくべき

2 志望動機の本

前触れなく、志望動機を書かされるのもよくあること。そんなとき、このメモさえあれば安心

1 時刻表

関西全域の私鉄・JRに対応した時刻表。一日何社かを訪問する予定があるときは、とくに重要する



「キャンパスのグローバルスタンダードって何だろう？」

いま、社会のあらゆる場面で進むグローバル化の動き。甲南大学を始めとする各大学においても、「国際人の養成」を掲げた、カリキュラムの刷新、施設の充実などがますます顕著になっている。しかし、いま大学が、こぞ育て育成をめざす「国際人」とは、一体どんな人を言うのだろうか。また、世界のフィールドで活躍するためには、どんな能力が求められており、そのために、甲南大学ではどんな取り組みを行っているのか。開学50周年を記念した甲南Today 第1回の特集では、いまキャンパスに求められるグローバルスタンダードを、甲南大学における最新の取り組みを通して探っていく。

Q

世界で活躍するために求められるのは、どんな能力？
そのために、甲南大学で行われている取り組みは？

Q

国際人って、外国語をうまく話せる人のこと？
甲南大学の語学教育って、他の大学とどう違うの？

Q

大学の学びは、今後変わっていく必要があるの？
甲南大学では、そうした動きがありますか？



学生相談室専任カウンセラー
文学部助教授
高石 恭子

「保護者の方々からのご相談も受け付けています。お子さんが家にこもりがちで心配されている場合など、まず、電話で気軽にご相談ください」
TEL 078・411・4647

高石先生に聞きました。

「どんなときに学生相談室は利用されていますか？」

キャンパスライフ
ここが知りたい!

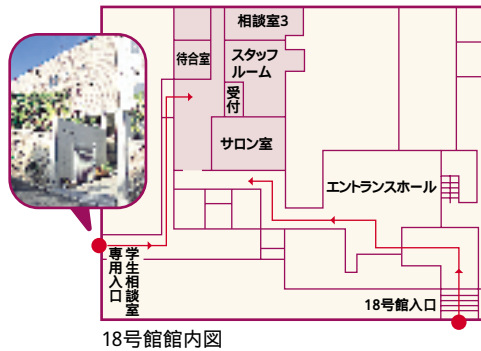


学生相談室編

一般的に学生相談室というと、何か深刻な悩みを打ち明けたい人だけが利用する場所。そんな雰囲気はありませんか。でも、ここは全く違います。実際に、いま私たちのところを訪れる学生には、悩みを相談に来る人、少し人にならなて考えたという人、友達と一緒に、無料で行っている心理テストを受けに来る人など、目的はさまざま。なにせ、自転車の鍵をなくして青ざめた学生がやってきたので、工具箱を貸してあげたというエピソードもあるくらいです。笑。毎週金曜日にはお茶を飲みながらグループで雑談するティーアワーなど、楽しくて、リラックスできる企画もいろいろ用意しています。結構使える」と意外に人気を集めている施設なんです。

もちろん、深刻な悩みの相談には、専門家のカウンセラー（臨床心理士または精神科医）がしっかり対応します。いま、学生からの相談で多いのは対人関係の悩み。とくに入学して間もない新入生からは、友達ができない、クラブの先輩とうまくいかないといった相談をよく受けます。そんな悩みに対して、こちらが用意した答えを押しつけるのではなく、あくまで学生自身が解決方法を見つくるまで一緒に考えて考え、話す。これが私

きる企画もいろいろ用意しています。結構使える」と意外に人気を集めている施設なんです。



ちの行うカウンセリングです。相談に来る学生は、自分の抱えている問題を誰にも打ち明けられず、そのため自分の中で整理ができずに悩んでいる場合がほとんど。ゆくり時間をかけて話すことで、きつと解決方法が見つかります。学生相談室は、予約をする必要もなく気軽に来れますから、まだ、訪れたことのない人も、ぜひ積極的に利用して欲しいですね。

「どんなときに」利用しよう！ 学生相談室のススメ。

- その1 専門家のカウンセラーに悩みを相談したい
- その2 雑誌を読んだり、CDを聞いたたりして、ゆくりくりくつろぎたい
- その3 性格検査、職業興味適性検査など、自己分析に役立つ心理テストを受けたい
- その4 ティーアワー、陶芸体験、大極拳、ランチパティなど、さまざまな企画に参加してみたい



Report 2

国際言語文化センター 中村耕二所長が語る
言語は思いを伝え、思考を深める有効な手段。
大切なのは、どう捉え、何を伝えるか。

2001年度の入学生より新たに、全学部共通科目として履修可能になった4コースの国際言語文化科目。いま甲南大学が言語文化教育プログラムをさらに強化していく背景には、どんな狙いがあるのだろうか。そして真の国際人とは？国際言語文化センター所長、中村教授にインタビューし、その答えを伺った。

さまざまな国の言語、および文化への理解をさらに深めることを目的に、2001年度より新たな言語文化教育プログラム「国際言語文化科目」がスタートした。従来からの外国語科目に加え、『国際文化』、『国際コミュニケーション』、『ドイツ語・フランス語』、『中国語インテンシブ』、『英語インテンシブ』の4コースを設置し、それぞれの履修を学生に義務づけた理由について、中村教授は次のように語る。「これまでは、せっかく多くの外国語を学びながらも、異文化への理解まで深めていけない学生は限られていました。外国語学習を導入レベルの理解に留めていては、国際社会で共生共存し、現実に生かせる力とはなりません。そこで、国際言語文化科目の導入により、学習機会を大幅に増やし、単に外国語を話せるだけでなく、自分の意思や日本の文化を多文化社会に対し、積極的に発信し、議論できる能力を育てていきたいと考えています。」

例えば、『国際文化』コースの講義科目のひとつ、『国際理解』では、強制労働を強いられる1億2千万人に及ぶ世界の子供たちや地域紛争、難民など、グローバルな問題を学生自らが調べる意見交換プログラムを発表。それをテーマに、全員でディスカッションを行う。学生を主体として問題意識を培っていく授

Report 1

EBA総合コース 岩崎晃、渡邊和俊両教授が語る

21世紀のビジネスに生きる学び。
それは、目的意識の育成から始まる。

2002年4月よりスタートする、甲南大学の新たな学び「EBA総合コース」。経済・経営学部の枠を越え、グローバルな視点から展開される革新的なカリキュラムとは、一体どのような能力を育てていくためのものなのか。本コースの設立に携わってきた岩崎教授、渡邊教授のお話から、その学びの本質に迫る。



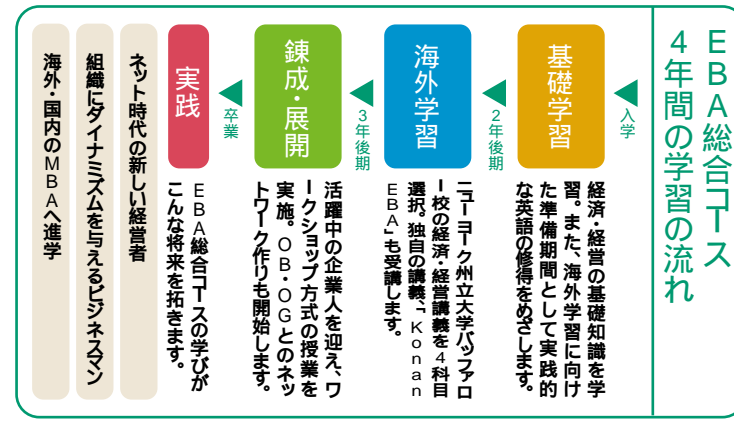
経済・経営分野の枠を越えた独自のカリキュラム、1学年35人の少人数制を導入し、世界水準の学びをめざす甲南大学の新たな試み、EBA総合コース。これまでに例のない革新的な教育プログラムには、どんな力を養成する目的があるのだろうか。EBA高等教育研究所長の岩崎教授は、新コース開設の主旨を次のように説明する。「グローバル化が進む現代に求められているのは、人と同じ考えではなく、より幅広い視野を持って課題にアプローチし、自ら解決していきける人材。EBA総合コースは、一方的に『習う』要素の強かった従来の教育に対する反省から、学生自身が考え、自ら知識を追求していくスタイルを実現。実社会に役立つ視野の広さ、実学的な知識を培うことをめざします。」

カリキュラムの特徴は、ニューヨーク州立大学バファロ校で学ぶ1年間の海外学習、第一線で働く企業人を講師に招いて行うワークショップ方式の実践的講義など。また、海外学習を、2年生の後期から比較的早い時期に設定している点にも重要な意味があると言つ。渡邊教授によれば、EBA総合コースの海外学習は、単なる語学留学ではありせん、日本とは全くシステムの異なる環境のなか、まさに手探りで専門知識を学んでいくことにより、学生は自分何のために学んでいるのかという根本的な疑問を突きつけられる。各自がこれに自分なりの答えを出してこそ、3・4年次の実践的な学びに、大きな意味が生まれるのです。」



自ら見つけた目的を達成するため、積極的に学ぶ。これこそがEBA総合コースの基本構想であり、これからの時代に求められる能力と言える。そして、集大成となる卒業企画では、一人ひとりが綿密なビジネスプランを作成。評価するのは、大学の教授ではなく、株式会社ミスノ代表取締役の水野正人氏をはじめとする甲南大学OBなど。「本当に良いプランなら、実際に企業に売り、実現していくことも決して夢ではない。まだ、始まったばかりですが、このコースには大学の学びを変える大きな可能性があると感じています。」

消耗していく専門知識ではなく、確固とした学びの目的意識を育てたい。その一歩先を行く教育構想が、今後の甲南大学を、そして世界のビジネスをやがて大きく変えていくに違いない。



めざす将来に応じて選べる国際言語文化科目、4つのコース

| | |
|----------------------------|-------------------------------|
| A. 国際文化コース | 選択した第2外国語と、その文化背景および国際理解を深める。 |
| B. 国際コミュニケーションコース | 選択した第2外国語の言語能力と、英語での自己表現力を養成。 |
| C. ドイツ語・フランス語・中国語インテンシブコース | ドイツ語・フランス語・中国語を集中的に学習。 |
| D. 英語インテンシブコース | 英語の実践的な運用能力を養成する。 |

全館マルチメディア対応 新5号館誕生

2001年3月に、最新情報機能を備えたインテリジェント施設、新5号館学習情報プラザが完成。延べ床面積11,171㎡メートル。地上5階、地下1階建ての館内には、情報コンセントと無線LANを介したネットワーク利用設備を整えており、新世紀に向けた学習教育活動の拠点として学内外からの期待が高まっています。

1階に就職部、講義室、カフェテリア、2階には講義室、自由利用学習室、自由利用パソコン室を設置。3階にサイバーライブラリ、マルチメディアゼミナール室、資格試験学習室、4・5階にはゼミナール室および社会系学部学科の「モデルム」グループ学習室を設けています。

中でも、4万冊におよぶ専門図書が収納可能なうえ、インターネットやCD-ROM、DVDによる情報検索も可能なサイバーライブラリは特徴的。社会系の図書およびマルチメディア資料を、全学部の学生が自由に閲覧できます。また、太陽光発電、氷蓄熱式空調、デシカント空調などを採用し、エコロジーを意識した造りとなっている点からも、まさに21世紀型の教育施設と言えます。

この新5号館が提供するものは、学生が自ら知識を深め、グローバル社会に役立つ能力を育成する環境。これにより甲南大学は、自立した国際人の育成をめざすキャンパスとして、設備面からも大きく前進したと言えるでしょう。



近未来的な雰囲気のカフェテリア。軽食や飲み物を注文し、友達や教授とうちとけて話せる



1～4階までの各階には、休憩用のカウンター席を設置。キャンパスを見下ろしながらくつろげる



最新のウィンドウズマシン106台が揃う自由利用パソコン室は、いつでも利用できるから便利



平日・土曜の夜間、日曜・祝日も開館しているサイバーライブラリ。卒業生の利用もOK

Report 3

情報教育研究センター 杉村陽所長が語る

学部の枠を越えて知識をリンク。 ネットワークが学びの質を変える。



インターネットの爆発的な普及により、世界の情報が瞬時にやり取りされる現代では、情報をいかに活用できるかも国際人に欠かせない能力のひとつ。甲南大学では、こうした時代の要請を受け、全館マルチメディア対応の新5号館を設立し、これを機に、革新的な教育システム「甲南S-ネット計画」を開始した。立ち上げを率先してきた情報教育研究センター所長、杉村教授にその背景をお話しいただく。

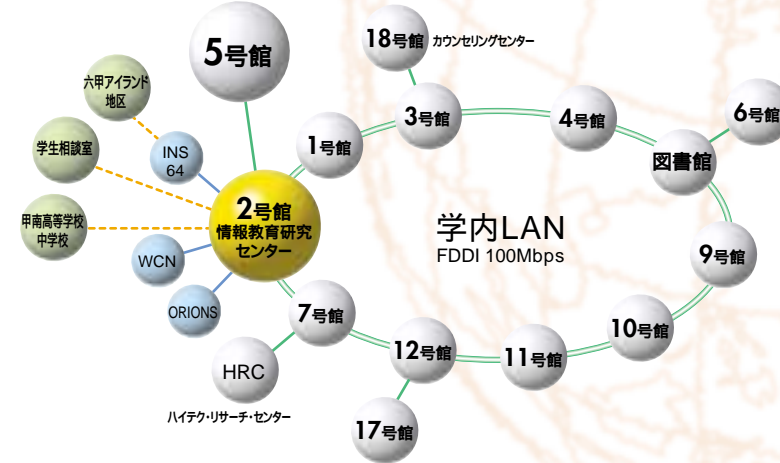
『甲南S-ネット計画』とは、新5号館の完成により、さらに密度が濃くなった学内LANシステム、無線LANシステムを利用する新しいキャンパスネットワークのカタチ。学生は、就職情報など大学の持つ情報に、時間や場所を問わずにアクセスできるが、杉村所長によれば、この計画の目的は、決して単なる情報の提供だけに留まらなないという。

『甲南S-ネット計画』の使命は、グローバル化する社会の要請に応え、大学の学びの質を根底から変革していくこと。これまでの講義では、ただただ学習効果をあげられるかが、ほぼ教授個人の指導方法に委ねられていたが、インターネットやマルチメディア教材による学習、復習を可能にすることで、そうした状況を改善。学生に自分の意志を持って積極的に学べる環境を提供します。

次世代の教育環境を実現するため、いま甲南大学では、各講義で使う資料などをデジタル化し、マルチメディア教材としてホームページにアップする取り組みが着々と進行中。他大学が競って設備の充実のみをめざすなか、学習コンテンツの作成にまで力を注ぐ姿勢は特徴的だ。

「各講義の教材をインターネットで見られるようにすることで、さらに、学部の枠を越えた学びを提供することもできます。例えば、経営学部の講義の予習で、民法の知識が必要となったとき、その内容を法学部のホームページから探れば、より詳しい理解が可能に。また、いままで講義ごとに断片的だった知識を関連するもの同士で結びつけ、生きた知識として学んでいくことも可能になるでしょう」。大切なのは、先進の設備ではなく、あくまで学生の主体性を促すコンテンツ作り。このソフトを重視した試みが、甲南大学の学びを根本から変えていく。

甲南大学ネットワーク



ただ言葉を話せる、海外の文化を知っているだけでは国際人と言えない。コミュニケーション能力を有効に発揮し、いかに自分の考えを相手に発信できるか、いかに目的を実現していくことができるかという実践力こそが、グローバル化する社会に求められている資質である。すなわち、言語教育、情報教育などの環境を充実させる一方で、それを使い、誰に何を発信していくのかといった目的意識をしっかりと育てていくこと。それを両輪として取り組むことが、いまキャンパスに求められるグローバルスタンダードなのだろう。

「デモ」と「ノ」の違いは? 日本語を突き詰ると、世界の中の日本が見えてくる。

例えば好きなプロ野球チームの話で、「弱くても応援する」とか、弱いのに応援する」と言いますよね。「デモ」と「ノ」はよく似ているように、「デ」が違います。簡潔に言ってしまうえば、その違いが何かを考え、広く日本語学や日本語教育にわたる領域を研究するのが私のゼミです。

この現象を説明するためにはさまざまな方法があり、世界の中の日本・日本語」という見方ができるようになります。つまり、異文化に対しても柔軟に対応できる力が身につきます。

卒業論文を提出した時には、「今までこんなに日本語について考えたことはなかった」と思えるほどの満足感が得られるはず。ただ、私が望むのは、単に日本語の文法という枠に収まるのではなく、日本語をどうすればわかりやすく外国人に教えられるのか、さらに外国人の日本での境遇や文化摩擦などの問題にも関心を広げてほしい。普段当たり前に使っている日本語が、今までになかった視点で見られるようになるはずですよ。



Seminar

ゼミ編

中島ゼミ(日本語学)

文学部 日本語日本文学科
中島孝幸教授

企業はどのように成長し、グローバル化しているのか。実証的研究から考察。

いま経済は、ますますグローバル化を遂げています。そして、グローバル化が進むにつれて、国家・企業間の競争は色濃くなりつつあります。つまり、諸国の経済、各企業の経営も、国や地域ごとの違いを志向し、その優位性をどのように確保するかが、最大の課題となっているのです。

例えば、インドのソフトウェア産業はどのように成長したのか。また、アメリカのバイオベンチャーはいかに国際競争力を確立してきたのか、という課題の分析もその延長にあります。目まぐるしく加速化する技術と企業のグローバル化は、21

世紀の企業経営に標準モデルがあり得ないことを私たちに教えてくれているのです。

私の研究室は、さまざまなケーススタディを通して、企業の競争戦略の本質を考察する、ということがテーマ。本研究を通して、その時代の最強組織のあり方や、組織をリードする人間の条件ということまでも理解し、戦略的思考を体得することをめざしています。また、現代の最強組織の戦略を自分自身の目で見つめるために、内外の企業訪問やシンカポール大学、マサチューセッツ工科大学などの海外の大学との交流も積極的。実例をもとに競争戦略を分析するという研究に、のめり込む学生も多いですね。



Laboratory

研究室編

シュレスタ研究室

経営学部 経営学科
Manoj L. Shrestha教授

アメフトに関わりたい思いが強かった堀田高章さんは、卒業以来10年間、毎週土・日曜日にはグラウンドを訪れ、コーチとして選手たちを指導している。

「コーチは、チームの運営や戦術を考え、指導するのが仕事なのですが、立場上、学生と間に一線を引く、ということが大事ですね。そのうえで、よき相談相手でよき指導者、よき兄貴的な存在として関わりたいと。パトリダーとは「昨日の試合どうだった」とメールでやりとりして、次の試合につなげていきます。4年生には、就職の相談や世話をしたりもしますよ。仲田とはパートも違うので直接指導することはないけれど、副将としてチームをひっぱっていったらいいと思いますよ。今年はとにかく「関西リーグ3位=5勝!」をめざす。3強に入るのは並大抵のことではないけど、強い意志でやって欲しいと思います」。

Hotta Takaki
コーチ 堀田 高章さん(1991年経営学部卒業)

ネバー・ギブアップ!

これが甲南アメフト・スピリット。

Nakata Atsushi

副将 仲田 睦さん(経営学部4年次)

現在は、花形クォーターバック、そして副将として活躍する仲田睦さん。

「アメリカンフットボール部は、体育会特有の上下関係はなく、仲良く信頼しあっていると思います。一緒に食事に行ったり、コンパに行ったり(笑)。練習中でも先輩後輩関係なく、言いたいことが言い合える環境です。何よりもコミュニケーションと団結が大事なスポーツなので、自然にそうなったのかもしれませんが。堀田コーチは卒業以来、ずっとコーチをしていて、うちのクラブのことを一番よく知っている先輩。僕達の知らない昔の試合や、ここ最近のどんな試合のビデオも、堀田さんに頼めば「あるある。ダビングしたるわ」。かなりのアメフトマニア(笑)。忙しいとは思いますが、仕事とコーチングを高いレベルで維持できるように頑張っていたきたいですね。僕らは自分の役割を精一杯こなし、リーグ3位をめざします!」。



新明和工業株式会社経理部勤務。大学からアメフトを始め、ポジションはディフェンスバック。3年次までですべての単位をとり終え、4年次の時は朝から晩までアメフトづけの毎日を堪能していたとか。

豊中高校アメフト部を経て「もっと高いレベルでやりたい」と甲南大学へ入学。2年連続で目標の4勝をクリア、今年はリーグ3位をめざす。アメフト雑誌「タッチダウン」の表紙を飾ったことも。



初心者も大歓迎！みんなが楽しむことを
モットーにアットホームな活動を展開。

Sports

体育系サークル

フットサル・サークル
「Grandioso」
(グランジオーソ)



フットサルとは、いわば5人で行うミニサッカー。通常のサッカーよりも狭い場所、気軽に行えるよう考え出されたスポーツです。本学のフットサルサークルが誕生したのは1997年。今春、サークルを設立した第一期生が卒業し、現在はマネージャーを含め19人のメンバーが、週1回程度のペースで練習に励んでいます。

チームのムードは「アットホーム」。サークルのモットーとして「フットサルを楽しむ」を掲げているだけあって、大会で勝つことよりも、未経験者でも純粋に楽しめるような雰囲気作りを大切にしているとか。先輩・後輩どうしも仲が良く、メンバー全員がチームの「顔」(主役)であるように心がけているそうです。

とはいえ、「灼熱のビーチサッカー・フェスティバル in 大蔵海岸」では予選リーグ優勝、FLA CUP2000では3位に入賞するなど、その実績はなかなかのもの。一時は対外試合泥沼の13連敗(引き分け含む)を経験したこともありますが、持ち前の「楽しむ」という明るいムードで、落ち込むこともナシ。これからはチームのムードを大切にしながら、学園祭その他、フットサル以外の活動にも取り組んでいきたいそうです。



他大学の学生や地域との交流を積極的に行い、
在日韓国・朝鮮人としての生き方を考える。

Culture

文化系サークル

韓国文化研究会

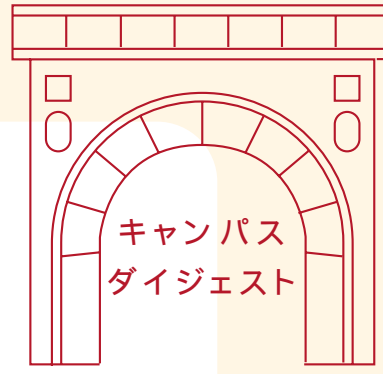


在日学生どうしが学び、語り、ふれあう中で、自分たちのルーツに向き合い、在日韓国・朝鮮人として、堂々と生きていくことを目標に活動している「韓国文化研究会」。週2回、1回2〜4時間程度の活動で、朝鮮語の学習会や、在日・朝鮮の歴史、歴史認識、現在の情勢などの学習会を開いています。時には活動の場を広げ、地域で行われるマタンに出演することも。楽器を叩きながら踊る朝鮮の伝統文化、ブンムム(農楽)を披露するなど、文化交流の場にも積極的に参加しています。

昨年の夏には、日本・在日・韓国・スウェーデンに参加。ここでは日・韓の青年、学生が集まり、共通の課題である歴史認識や在日外国人の人権、平和問題、朝鮮民主主義人民共和国への人道支援などについて、フィールドワークや討論会を行い、仲間と交流を深めました。このような経験から、海の向こうの友人たちとの輪が広がり、次の活動の原動力になるのだと代表の金末可さんは話します。

他大学の韓国文化研究会と結んで活動しているため、地域を問わずに多くの人と友達になれるのも、この研究会の魅力。今後は、甲南大学の学生がアジアや在日について日本人の立場で考えられるような取り組みをしていきたいと抱負を語ってくれました。

CAMPUS DIGEST



学位記・卒業証書授与式が
3月24日に挙行されました。

2000年度学位記授与式第47回卒業証書授与式が、3月24日午前10時から甲南大学の講堂兼体育館で執り行われました。大学院の各研究科・専攻の代表に学位記博士・修士(各)が、各学部の代表に卒業証書(学士)が授与された後、吉沢英成学長が式辞を、戸山晶夫理事長、池上吉藏同窓会長が祝辞を述べました。その後、在学生を代表して、自治会中央委員会の岡田勤委員長が送辞を、文学部の松田みゆきさんが卒業生を代表して答辞を述べ、最後に、一同による学園歌斉唱で閉式。大学院生88人、学部学生2181人が晴れて社会に巣立ちました。



期待に胸を弾ませて。
2457人が甲南大学に入学。

4月5日に2001年度入学宣誓式が実施され、大学院生105人、学部学生2352人が入学。おごそかな雰囲気の中で式が進行し、新入生たちは、これから始まる大学生活を思い、期待に胸を弾ませていました。



この事跡を後世に伝えるために、
阪神・淡路大震災犠牲者慰霊碑
献花式が行われました。

6000人以上もの死者を出した阪神・淡路大震災。今年の1月17日をもって7年目を迎えますが、甲南学園にとって37名の関係者の尊い命が奪われたことは、学園史上決して忘れてはならないことです。これまでは、阪神大水害と同震災の記録を刻んだ災害記念碑を学内に設置していましたが、本学が開学50周年を迎えるにあたり、阪神・淡路大震災犠牲者慰霊碑を新たに設置。この慰霊碑は黒御影石に、犠牲者となられた大學生16名(院生を含む)、中・高生徒2名、卒業生19名の氏名が刻まれたもので、4月20日に慰霊碑の献花式が執り行われました。

慰霊碑の献花式には犠牲者のご遺族をお招きし、戸山理事長の挨拶の後、全員で黙祷。続いて、ご遺族並びに学園関係者から献花が行われ、閉式となりました。

犠牲者の鎮魂を願うとともに、この事跡を永く後世に伝えるために行われた今回の慰霊碑献花式。私たちは、これからの想いを忘れず、学生たちに伝えていきます。



お知らせ

2001年度
甲南大学役職者紹介

2001年8月から、老朽化した6号館の建て替え工事に着手します。7階建て、総面積3990㎡となる新6号館は、2003年2月に完成の予定。2号館と連結することにより、情報教育研究センターと合わせたマルチメディア教育スペースが形成されることとなります。

社会科学研究所・経営学専攻に夜間主コースを新設

社会科学研究所・経営学専攻の修士課程が来年4月から、経営学(昼間主)コース(定員5名)とビジネス(夜間主)コース(定員5名)の2コースに分かれます。いずれのコースも社会人の受け入れが可能で、修了者には修士(経営学)の学位を付与。学界志望の方はもちろん、キャリアアップをめざす方にも本研究所がサポートします。

ビジネス(夜間主)コース

【対象】現職のキャリアアップをめざす方、生涯教育として学びたい方、ベンチャー(起業家)をめざす方、ビジネスマン、専門職業人などに実践的問題解決能力を養成。

- 学長 吉沢英成
- 副学長 太田雅久
- 文学部長 平松 剛
- 理工学部長 山田隆己
- 経済学部長 草野正裕
- 法学部長 安西敏三
- 経営学部長 布上康夫
- 国際言語文化センター所長 中村耕一
- 人文科学研究科長 小谷博泰
- 自然科学研究科長 山根民穂
- 社会科学研究所長 草野正裕
- 学長補佐 杉村芳美
- 学長補佐 高野清弘
- 教務部長 石井 昇
- 学生部長 青山義孝
- 就職部長 中田善啓
- 図書館長 木股知史
- 保健体育研究室長 北岡 守
- EBA高等教育研究所長 岩崎 晃

甲南大学開学50周年・EBA総合コース開設記念シンポジウム
「21世紀のリーダーとは」
―多様化時代のパーソナル対応―

【パネリスト】村上世彰氏、M&Aコンサルティング社長 藤原 隆
【日時】5月12日(土)午後2時
【場所】甲南大学 5号館 511講義室
【申込方法】官報がききに住所・氏名・年齢・性別を記入のうえ、広報室へ、入場無料

文学部歴史文化学科開設記念講演会
「ヨロッパが見た古代」

【講師】榎山 誠(氏、東大教授)
【日時】6月9日(土)午後3時30分
【場所】甲南大学 1号館 132講義室
【受講料】無料

総合研究所公開講演会
「植物を軽んじていませんか？」

【講師】田中修氏(甲南大教授)
【日時】6月16日(土)午後3時30分
【場所】甲南大学 1号館 142講義室
【受講料】無料

甲南大学教育懇談会

本学の現況報告をはじめ、学生の修学状況・就職・留学などに関するご質問・ご相談にお応えする教育懇談会をぜひお越しください。
【日時】6月30日(土)午前11時30分
【場所】甲南大学本校舎
【プログラム】受け付けの後、本学の食堂で昼食、午後から吉沢学長の挨拶に続いて高石泰子・文学部助教授による講演「大学生活と心の問題」、個別相談、大学施設見学などを行います。



甲南大学の
教員が執筆した
新刊
レビュー

管理会計
価値創出をめざして
上埜 進著
税務経理協会
¥4,000(税別)

戦後オランダの
政治構造
水島治郎 著
東京大学出版会
¥8,000(税別)

PTSDの
医療人類学
アラン・ヤング 著
中井久夫 大月康義
下地明友 内藤あかね
共訳
みすず書房
¥7,000(税別)

臨床日記
シャンドル・フェレンツイ 著
森 茂起 訳
みすず書房
¥5,200(税別)



甲南フォーラムは、読者の皆さまからお寄せいただいたお便りでつくります。今回は、第4号の内容「特集 甲南大学の21世紀ビジョン 新しい時代の大学教育をめざして」などに対していただいたご意見・ご感想を紹介いたします。皆さまと大学の「コミュニケーション」をさらに深めていくためにぜひ「1読ください」。

自分の大学時代は、いつも新しい夢を実現するためにチャレンジを繰り返していましたが、今回の特集を見る限り、甲南大学のキャンパスには実にさまざまな可能性が溢れているようで、正直、息子をうらやましく感じました。
(京都府 経済学部・父)

カットも多く掲載して欲しいです。
(兵庫県 法学部・母)

特集 甲南大学の21世紀ビジョンは、甲南大学の最近の動向がよくわかり、興味深い記事だと思いました。今後は、就職についての情報をもっと得たいので、社会で活躍されているOBやOGの方々の声を聞ける特集を検討していただけたら幸いです。
(兵庫県 経営学部・母)

最近、関西の各大学の動向を特に注意しているが、甲南大学の取り組みは、ほぼすべての方面を網羅していて素晴らしいと思った。今後ますます充実させて欲しい。(大阪府 法学部・父)

「甲南学園の20世紀」の生徒食堂の写真を見て、昭和2年にこんな大食堂があったのかと驚きました。
(匿名希望)

お便り募集のお知らせ
甲南Todayでは、誌面を通じて皆さまとの交流をいっそう深めていくために、「意見」感想をお待ちしています。本誌同封のはがきに質問事項などを「記入のうえ」投函ください。

EVENT GUIDE SCHEDULE

| 7月 | 6月 | 5月 |
|--|---|---|
| <p>前期講義終了(13日)</p> <p>学生相談室講演会「私の学生時代」 講師/河合雄雄氏(13日)</p> <p>補講日(14日)</p> <p>前期試験(16日)~(30日)</p> <p>夏期公開講座 「パティントン教室」(16日)~(30日) 夏期公開講座「バロン教室」(20日)~(21日) 夏期休業(31日)~(9月20日)</p> | <p>文化会フェスティバルイベント(3日)</p> <p>文学部歴史文化学科開設記念講演会 「ヨロッパが見た古代」(9日)</p> <p>第26回図書館ライヴ(コンサート)(13日)</p> <p>総合研究所公開講演会 「植物を軽んじていませんか？」(16日)</p> <p>甲南大学教育懇談会(30日)</p> <p>体育会フェスティバル・キャンプ</p> | <p>甲南大学開学50周年記念シンポジウム 「21世紀のリーダーとは」(12日)</p> <p>学生会館講演会 「人生、屁のツツパリは要らんですよ」 講師/神谷明氏(14日)</p> <p>第32回学館祭(14日)~(18日)</p> <p>留学生エッセイコンテスト(15日)</p> <p>第127回現代講座 「私さがしの魅力と落とし穴」 講師/香山リカ氏(18日)</p> <p>春期公開講座「女性」この豊饒なる力へのメッセージ(19日)~(6月23日)</p> |

印は、お知らせ(17ページ)参照

編集後記

草木が鮮やかに新芽を広げ、街では初々しい新社会人の姿が見られる、始まりの季節。甲南大学はこの春、2,457人の新入生を迎え、21世紀の新たなスタートを切りました。本誌も今号より、リニューアルしてお届けしましたが、いかがでしたでしょうか。中でも特集ページでは、今まで以上に内容を深く掘り下げるルポ調の構成により、甲南大学が考える「グローバルスタンダード」を追求。教育方針から実施案までを、読者の皆様によりわかりやすくお伝えしていくことをめざして編集しました。

今後も、よりよいコミュニケーションツール作りをめざして参りますので、本誌に対する忌たんのないご意見、ご感想をお寄せくださいますよう、よろしくをお願いします。

次号予告 甲南Today No.6

2001年7月発行予定

特集
クラブ活動で自分と出会う。
開学50周年記念シリーズ2
「ITで大学はどう変わる？」

甲南Today No.5

発行日/2001年5月1日
発行/甲南学園広報室
〒658-8501神戸市東灘区
岡本8丁目9-1
TEL(078)431-4341(代)
印刷/大日本印刷株式会社